

CommuniNet —ActiveX/OLE 対応端末エミュレータ

■概要

CommuniNet は、メインフレームと接続し、T-560/20 オンライン機能を Windows®上で実現する端末エミュレータ製品です。ActiveX/OLE 対応により、オープンな環境での基幹業務を提供します。

既存のオンライン機能はそのまま、Microsoft® Internet Explorer®上でも動作可能です。エミュレータの絶対条件である印刷機能も充実のラインナップ。ActiveX コントロールの提供により、オンライン業務の自動化、カスタマイズがより身近になりました。各企業の運用に沿った業務に仕上げることが可能です。

さらに、CommuniNet Extension、CommuniNet 560+、CommuniNet マルチディスプレイオプションといった関連製品やアドインソフトを利用すると、CommuniNet をより有効に活用できます。

■特徴

[ActiveX/OLE 対応]

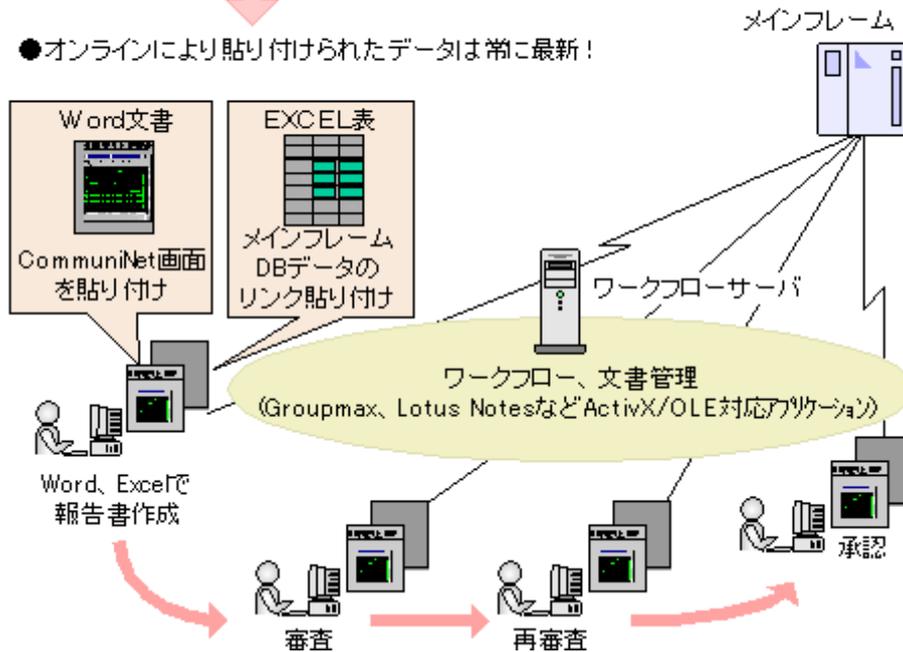
ActiveX/OLE をサポートする Microsoft® Office 製品や Microsoft® Internet Explorer®に CommuniNet のオンライン画面を貼り付けて動作させることができます。

グループウェアアプリケーションとの連携によりワークフロー上からメインフレームデータベースの情報をリアルタイムに取得できます。

【事例紹介】

- ワークフローデータ中にCommuniNet画面/部分データを貼り付けることが可能

- オンラインにより貼り付けられたデータは常に最新！



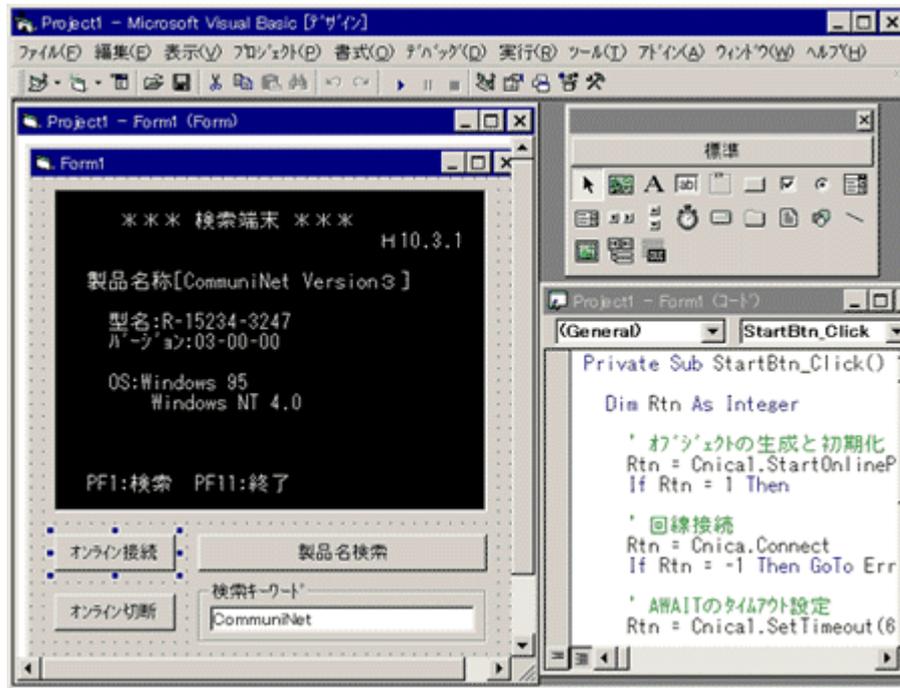
*Excel へのオンラインデータ組み込みは、別途コーディングが必要となります。

[ActiveX コントロールの提供]

CommuniNet の主な機能を ActiveX コントロールとして提供しているため、Visual Basic®等の開発ツールでオンライン業務をカスタマイズすることができます。

CommuniNet のコントロールを用いた業務プログラムの作成例を次に示します。

この例では、Visual Basic®のフォームにオンライン画面を貼り付けています。フォーム上のボタンを押した時にオンライン画面を制御するようにプログラミングしています。



CommuniNet のコントロールを用いた業務プログラムの作成例

CommuniNet のコントロールは、以下の開発言語に対応しています。

「CommuniNet Version 4」

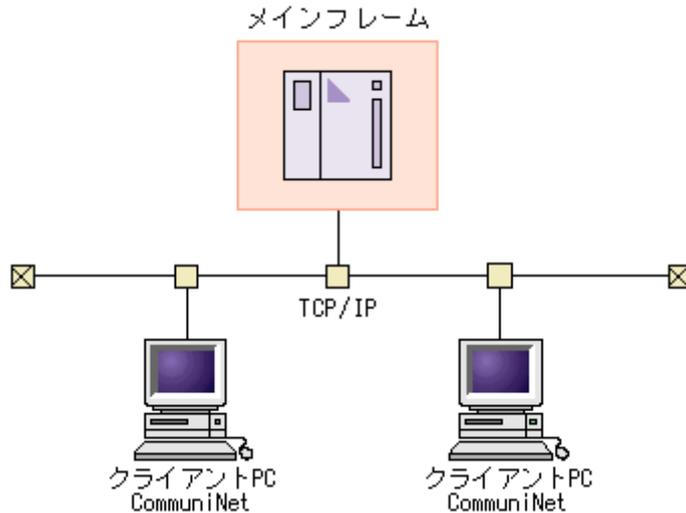
- Visual C++® 2005
- Visual Basic® 2005/2008/2010/2012/2013/2015/2017/2019

「CommuniNet Version 3」

- Visual C++® 4.0/5.0/6.0/.NET 2002/.NET 2003/2005
- Visual Basic® 4.0/5.0/6.0/.NET 2002/.NET 2003/2005/2008

■システム構成図

CommuniNet は、TCP/IP を使用してメインフレームと通信を行います。



■機能

CommuniNet はメインフレームとデータ交換を行う T-560/20 オンライン機能として次の機能があります。

[オンライン処理機能]

オンライン処理とは、メインフレームと回線で接続したパソコンからオンライン画面を介して、メインフレームのプログラムを利用する機能です。このオンライン処理で、パソコンからメインフレームのプログラムを自由に操作できます。また、非占有 DFC や先行入力機能(キーボードバッファ機能)もサポートしています。

[ファイル転送機能]

ファイル転送とは、パソコンで作成したファイルをメインフレームに送信したり、メインフレームのファイルをパソコンで受信する機能です。パソコンのファイルをメインフレームに送信し保存することで、メインフレームとデータの共有ができます。また、メインフレームのファイルを受信して、Windows®のプログラムで加工することもできます。

[印刷機能]

印刷機能を利用することで、メインフレームのデータをパソコンに接続されているプリンタで印刷したり(オンライン印刷)、メインフレームのデータをオンライン画面に表示しながら印刷したり(ローカル印刷)できます。また、オンライン画面に表示されている内容のハードコピー(オンライン画面印刷)もできます。

[外字機能]

あらかじめ Windows®に文字フォントを登録しておくプレロード外字(最大 1,880 字)や、メインフレームから文字フォントを受信するオンデマンド外字を使用することができます。

*オンデマンド外字:メインフレームから受信したテキスト中に外字があった場合、メインフレームに対して文字フォントを要求し、この要求に応じて送信される文字フォントを使用して表示・印刷する文字。

*プレロード外字:メインフレームから受信したテキスト中に外字があった場合、Windows 標準外字を使用して表示・印刷する文字。

[通信の接続/切断機能]

本機能により、ホストダウン状態での接続リトライ処理による従量制回線使用時の課金問題に対し、ホストダウン状態のときを検知し回線を切断するプログラミングも可能です。

Microsoft® Internet Explorer®等に CommuniNet を貼り付けた場合に、切断機能がないと別のページに移動しても回線が接続された状態のままになることの防止策等としても使用できます。

PPP 接続に対応致しているため接続/切断機能を利用することにより、サブノート機での出先からの基幹業務が可能となります。

なお、本機能はマクロコマンドからの使用も可能です。

[DDE 機能]

CommuniNet には、DDE(Dynamic Data Exchange)機能があります。DDE 機能とは、オンライン画面の文字を他のプログラムに貼り付けた後、オンライン画面の文字が変更されると貼り付けた文字を自動的に変更する機能です。

[マクロ・ホットスポット機能]

マクロ機能やホットスポット機能を活用すれば、キー操作をしなくても、メニューやボタンの選択、および文字列のダブルクリックといったマウスの操作でオンライン端末を利用できます。マクロ機能とは、画面へのキー操作をユーザの指示に従って自動的に実行させる機能です。

自動実行させるキー操作は、あらかじめ専用のプログラム言語(マクロスクリプト)を使って記録しておき、ボタンの選択によって実行されます。また、ホットスポット機能を使用すると、画面の文字列のダブルクリックでマクロスクリプトに記録したキー操作の自動実行ができます。

[クリックボックス機能]

クリックボックス機能とは、CommuniNet のオンライン画面上のユーザが指定した領域をダブルクリックすることによって、あらかじめ範囲に関連付けられたコンボボックスを表示し、文字列を選択することにより、オンライン画面上の指定されたフィールドに対し文字列を書き込む機能です。

本機能により、入力ミスの防止が可能になりオンライン業務の簡素化が可能となります。マクロによる自動 LOGON 機能を併用すれば、オンライン業務はマウス操作のみで可能となります。

[キーボードマッピング機能]

送信キーや PA キーなどオンライン操作に特有のキーをユーザ操作に合わせて他のキーに割り当てることができます。

[自動フォント調整機能]

オンライン画面のサイズに合わせて、文字フォントの大きさを自動的に調節する機能です。オンライン画面のサイズをマウスで簡単に変更できます。

[KEIS コード入力]

日立標準漢字コード(KEIS コード)で漢字を入力できます。

* CommuniNet Version 4 04-01 以降では、KEIS2004 も使用できます(別製品「日立コード変換 - Client Runtime」または「Hitachi Code Converter - Client Runtime for C/COBOL」が必要です)。

[マルチディスプレイ対応]

Windows® 2000、Windows® Me、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Windows® 11 のマルチディスプレイ環境での動作に対応しています。CommuniNet のオンライン画面と、他のアプリケーション画面をそれぞれのディスプレイ上に表示させることでオンライン業務を効率よく行うことができます。

*マルチディスプレイ環境で動作させるには、CommuniNet マルチディスプレイオプションが必要です。

■動作環境

CommuniNet は以下の OS に対応しています。

| 製品名称 | 対応 OS |
|----------------------|--|
| CommuniNet Version 4 | Windows® 11 Pro Windows® 11 Enterprise Windows® 10 Pro x86 Windows® 10 Enterprise x86 Windows® 10 Pro x64 Windows® 10 Enterprise x64 Windows® 8.1 Pro x86 Windows® 8.1 Enterprise x86 Windows® 8.1 Pro x64 Windows® 8.1 Enterprise x64 Windows® 8 Pro x86 Windows® 8 Enterprise x86 Windows® 8 Pro x64 Windows® 8 Enterprise x64 Windows® 7 Professional x86 Edition Windows® 7 Enterprise x86 Edition Windows® 7 Ultimate x86 Edition Windows® 7 Professional x64 Edition Windows® 7 Enterprise x64 Edition Windows® 7 Ultimate x64 Edition Windows Vista® Business x86 Edition Windows Vista® Enterprise x86 Edition Windows Vista® Ultimate x86 Edition |
| CommuniNet Version 3 | Windows® 95/98/Me/XP Windows NT® Workstation 4.0 Windows NT® Server 4.0 Windows® 2000 Professional Windows® 2000 Server Windows Server® 2003, Standard Edition Windows Server® 2003, Enterprise Edition Windows Server® 2003 R2, Standard Edition Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition |

*上記対応 OS は最新バージョンの製品を示します。製品のバージョンにより対応している OS が異なります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。

■サポートプリンタ

GDI 方式で印刷する場合、Windows 対応のプリンタドライバを提供している各社プリンタが利用できます。

■動作確認済みプリンター一覧

CommuniNet で動作確認済みのプリンター一覧です。

[日立プリンタ]

| モデル名 | 機種名 |
|-------------------------|------------|
| Prinfina LASER BX2180 | PC-PL2180 |
| BEAMSTAR-M308 | PC-PL2210 |
| BEAMSTAR-M316 | PC-PL2400 |
| BEAMSTAR-M320L | PC-PL2450 |
| BEAMSTAR-M320 | PC-PL2500 |
| BEAMSTAR-M322II | PC-PL2560 |
| BEAMSTAR-M322III | PC-PL2570 |
| BEAMSTAR-M324 | PC-PL2600 |
| Prinfina LASER BX2640 | PC-PL2640 |
| Prinfina LASER BX2650 | PC-PL2650 |
| Prinfina LASER BX2660 | PC-PL2660 |
| BEAMSTAR-M340 | PC-PL2800 |
| Prinfina LASER BX3240 | PC-PL3240 |
| Prinfina LASER BX3530 | PC-PL3530 |
| Prinfina LASER BX3540 | PC-PL3540 |
| Prinfina LASER BX3541 | PC-PL3541 |
| Prinfina LASER BX3550 | PC-PL3550 |
| REGATSTAR | PC-PL9120 |
| Prinfina IMPACT DX1080 | PC-PD1080 |
| IMPACTSTAR-SH080 | PC-PD2080 |
| IMPACTSTAR-SH080II | PC-PD2080A |
| Prinfina IMPACT DX2130 | PC-PD2130 |
| Prinfina IMPACT DX2161 | PC-PD2161 |
| Prinfina IMPACT DX5130 | PC-PD5130 |
| IMPACTSTAR-SS070 | PC-PD3071 |
| IMPACTSTAR-SS130 | PC-PD3130 |
| IMPACTSTAR-SS160 | PC-PD3161 |
| Prinfina IMPACT DX4070S | PC-PD4070S |
| Prinfina IMPACT DX4080S | PC-PD4080S |
| Prinfina IMPACT DX4081 | PC-PD4081 |
| Prinfina IMPACT DX4081A | PC-PD4081A |
| IMPACTSTAR-SE130 | PC-PD4130 |
| Prinfina IMPACT DX4131 | PC-PD4131 |
| Prinfina IMPACT DX4131A | PC-PD4131A |
| IMPACTSTAR-SE180 | PC-PD4180 |
| Prinfina IMPACT DX4181 | PC-PD4181 |
| Prinfina IMPACT DX4181A | PC-PD4181A |
| Prinfina IMPACT GX5601 | PC-PN5601 |
| Prinfina COLOR CX4500 | PC-PK4500 |
| Prinfina COLOR CX4510 | PC-PK4510 |

[日立プリンタ以外]

| メーカー名 | 機種名 |
|-------------|---------------------|
| 富士通アイソテック社 | fit7850 |
| 富士通アイソテック社 | fit7650 |
| 富士通アイソテック社 | fit7550 |
| 富士通アイソテック社 | fit7450 |
| セイコーエプソン社 | VP-6200N/VP-6200 |
| セイコーエプソン社 | VP-5200N/VP-5200 |
| セイコーエプソン社 | VP-4300N/VP-4300 |
| 沖データ社 | MICROLINE 8480SU2-R |
| リコーインダストリー社 | KD55A |

*上記のプリンタは、印字方式が GDI の場合の動作確認済みプリンタです。

バスルー方式の動作確認済みプリンタについては、CommuniNet 560+の動作確認済みプリンター一覧を参照してください。

■ライセンス

CommuniNet は、製品をインストールするパソコン毎にライセンスが必要です。

本製品は、パソコン毎にインストールを行う製品です。Windows®サーバ上で共有して使用することはできません。

《商標類》

- ・HITACHI, CommuniNet は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。
- ・Microsoft, Windows, Windows NT, Windows Server, Windows Vista, ActiveX, Excel, Internet Explorer, Microsoft Office, Visual Basic, Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。